



シンポジウム
特設WEBサイト



SIP「スマート防災ネットワークの構築」
WEBサイト

アンケートご協力をお願い

本日はシンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございました。シンポジウムに参加されたご感想をお聞かせください。



プログラム

13:30-13:35
開会のご挨拶

● 南部 智一
内閣府 政策参与・プログラム統括

プログラム 第1部

13:35-13:40
当課題、本日の
シンポジウムの紹介

● 楠 浩一
プログラムディレクター 東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授

13:40-14:20
特別講演

「デジタル技術でまちを作る、メタバースの現在と未来」

● 加藤 直人
クラスター株式会社 代表取締役CEO

「デジタルネイチャーの可能性と未来の防災」

● 落合 陽一
筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センター長

14:20-14:30

休憩

14:30-15:20
トークセッション

「防災×デジトラ ～デジタルでまちを守る～」

コーディネーター

● 入江さやか
松本大学 地域防災科学研究所 教授

スピーカー(五十音順)

- 落合 陽一 筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センター センター長
- 加藤 直人 クラスター株式会社 代表取締役CEO
- 楠 浩一 プログラムディレクター 東京大学 地震研究所災害科学系研究部門教授
- 重野 寛 サブ・プログラムディレクター 慶應義塾大学 理工学部情報工学科 教授

15:20-15:35

プレゼンテーション(第2部のご紹介)

15:35-15:40
ご挨拶

● 川上 大輔
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局審議官

プログラム 第2部

15:45-17:30
会場:ホールB、ホワイエ

クロスコミュニケーション

「観る」「触る」「体験する」をキーワードに、最先端の研究開発を紹介します。参加者の皆様は、展示や研究者との交流を通じて、安心・安全な社会の未来像を体験できます。

15:45-17:00
会場:ホールA

SIP防災萌芽技術ピッチ

気鋭の研究者が、最先端の萌芽技術を短時間で紹介します。自治体、企業の皆様が抱える防災DXの「ニーズ」と研究開発段階の「シーズ」を連携させ、未来の防災ビジネスを共創できます。

(注) 当日の進行により、プログラム内容、時間等に変更が生じる場合がございます。

SIP「スマート防災ネットワークシンポジウム 2025」

防災×デジトラ ーデジタルでまちを守るー



SIP防災萌芽技術ピッチ 15:45～17:00

会場：ホールA

①から⑬まで、今まさに注目されている最先端の萌芽技術をご紹介します。ホールAでのピッチでは、その一端をご紹介しますが、さらに深く知りたい方は「クロスコミュニケーション」会場へぜひお越しください。皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。

ピッチ ① マルチセンシングデータの常時解析・可視化・共有システム「SIP4D-Sens」

- 取出 新吾
防災科学技術研究所 社会防災研究領域 総合防災情報センター 副センター長

ピッチ ② AIoT家電を活用した「フェーズフリー防災」

- 佐藤 浩司
シャープ株式会社 Smart Appliances & Solutions事業本部
Smart Life事業統轄部 戦略推進部

ピッチ ③ 人工衛星と家電で支える防災ソリューション「宇宙(ソラ)× Eye(アイ)」

- 栗原 康平
三菱電機株式会社 防衛・宇宙ソリューション事業部

ピッチ ④ 災害時の損傷箇所推定技術「高詳細デジタルツイン」

- 堀田 渉
大成建設株式会社 原子力本部 先端解析技術部 室長

ピッチ ⑤ 災害時の構造物センシングデータ収集技術「多リンク系ドローン」

- 岡田 慧
東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 教授

ピッチ ⑥ 被災地での効率的な情報収集・共有技術「X-FACE」

- 坂野 寿和
株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 波動工学研究所 所長

ピッチ ⑦ 災害訓練シナリオの生成技術「DSG-SIM」

- 市川 学
芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 教授

ピッチ ⑧ リスク情報による防災行動の促進に向けた「共創型水防災訓練」

- 山田 朋人
北海道大学 大学院工学研究院 教授

ピッチ ⑨ 企業での気候変動対策の促進に向けた「気候変動適応e-learning」

- 岡 和孝
国立環境研究所 気候変動適応センター 気候変動影響観測研究室 室長

ピッチ ⑩ 防災デジタルツイン自動作成技術による「次世代防災情報(NX-HM)」

- 大石 哲
神戸大学 都市安全研究センター 教授

ピッチ ⑪ 低コスト渇水リスク評価技術「全球水環境Webmapシステム」

- 多田 和広
株式会社地圏環境テクノロジー 専務取締役兼開発部マネージャー

ピッチ ⑫ 全国の河川を対象にした洪水モデル・気候モデルによる「確率流量データセット」

- 佐山 敬洋
京都大学 防災研究所 防災技術政策研究分野 教授

ピッチ ⑬ 農農村部水路に対応した「浸水深見える化システム」

- 吉永 育生
農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 水理制御グループ長

※発表タイトル、発表順は変更になる場合がございます。

アンケート

ピッチをご覧いただいたご感想や、ご関心をお持ちいただいたテーマ・研究者へのご質問やメッセージがございましたら、ぜひお聞かせください。

<https://forms.office.com/r/Gy2wSrF4Rh>



クロスコミュニケーション

キーワードは「観る」「触る」「体験する」。

最先端の研究開発を、実際の展示やインタラクティブなコンテンツを通じてご紹介します。



ホワイエ | Foyer

- F1** ダム操作に関するミニプレゼン
時間(予定)| 16:10～16:45 | 16:50～17:25
- F2** 田んぼダムの模型展示 **ピッチ ⑬**
- F3** ポスター展示 **ピッチ ⑫**
- F4** 防災につながるメタバース活用・自治体でのメタバース導入事例
- F5** 津波災害デジタルツインの構築とスマート・レジリエンスの実現
- F6** SaaSによるデジタルツイン自動生成と災害被害シミュレーション自動実行のデモ **ピッチ ④** **ピッチ ⑩**

- F7** SIP4D-Xedge
(エスアイビーフォーディー・クロスエッジ)
- F8** X-ICS
(クロスイクス)
- F9** X-FACE **ピッチ ⑥**
(クロス・フェイス)
- F10** DSG-SIM **ピッチ ⑦**
(仮想災害シナリオジェネレータ&シミュレーション)
- F11** 宇宙(ソラ)×Eye(アイ) **ピッチ ①** **ピッチ ③**
ー人工衛星と家電で支える防災ソリューション
- F12** AIoT家電を活用した「フェーズフリー防災」に関するデモ展示 **ピッチ ②**

ホールB | Hall B

- B1** 水害ジブングト化ツール
- B2** PM++
(プロジェクションマッピング)
- B3** 仮想洪水体験システム **ピッチ ⑧**
- B4** 企業向け「気候変動適応e-learning」 **ピッチ ⑨**
- B5** 災害時の構造物センシングデータ収集に向けた多リンク系ドローンの制御と環境認識 **ピッチ ⑤**
- B6** 全球水環境Webmapシステム **ピッチ ⑪**